

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、影響を受けられている世界中の方々に心よりお見舞い申し上げます。

本日当社は、強い財務体質を迅速に回復させ、ポストコロナのニューノーマルにおける中長期的な成長の基盤を早期に確立するため、新株発行による増資を行うことを決定しました。

当社グループは、2012年9月の株式上場以来これまで、収益性を重視する経営方針のもとリスク耐性強化に努め、世界の航空会社の中でも最高水準の財務健全性を確立してまいりました。しかしながら、2020年1月以降の新型コロナウイルス感染症拡大により、当社を含む航空業界は厳しい状況に置かれております。このような大変厳しい経営状況について、株主の皆さまに深くお詫び申し上げます。

このような中で、当社グループは、聖域なきコスト削減、投資の大幅な抑制による資金支出の縮減に努め、同時に機動的な資金調達を実施し、十分な手元流動性の確保に努めてまいりました。しかし今なお世界中で新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、航空需要の回復には相当な時間を要することを覚悟しなければならない状況です。

今後どのような状況になったとしてもこの危機を生き抜き、来るべきポストコロナにおいて、いち早く中長期的な成長を実現するために、新株発行による資本の増強を決断いたしました。この公募増資により、速やかに財務体質の改善を図り、適切な機材更新や成長への戦略投資を行うために必要な資金を確保していくための強固な経営基盤を得ることができます。

この厳しい状況を全社一丸となって耐え抜き、この危機の後には、JALグループは、今回の公募増資によって得られる将来の成長のための資金と、強化された財務体質を最大限活かし、ポストコロナにおける新たな社会ニーズに対応することで、一層の日本と世界の交流と、日本国内における地域間ネットワークに資する重要な社会インフラとして、世の中に貢献する存在になっていくことができます。そしてそれこそが、JALグループの企業価値を向上させることになると確信しております。

株主の皆さまにおかれましては、今回の新株発行による増資の趣旨につき、何卒ご理解を賜れば幸甚に存じます。

皆さまとご家族のご健康をお祈り申し上げます。

2020年11月6日

日本航空株式会社

代表取締役社長執行役員

赤坂 祐二